

KANAGAWA HOHYUH CLUB

神奈川放友会



Newsletter

Vol.16.No1. Jan.2023

第 61 号

神奈川県放射線友の会 (略称 神奈川放友会)

〒231-0033 横浜市中区長者町 4 丁目 9 番地 8 号

ストーク伊勢佐木 1 番館 501 号

TEL 045-681-7573 FAX 045-681-7578

発行人 長谷川 武

発行日 2023 年(令和 5 年) 1 月 1 日

With コロナ時代 到来

監事 橋 亨

2019 年 12 月に中国で初めて報告された新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、全世界に感染拡大し、世界各地でロックダウン (都市封鎖) が行われた。新型コロナウイルスは次々と変異株に姿を変え、日本では感染拡大が 6 回に渡りピークを迎え、現在主流のオミクロン株が第 7 期のピークを超えてやや落ち着きを取り戻しつつある状況である。

完全収束は見通せない中、更にロシアのウクライナ侵略という事態による世界的な事案の発生も加わり、人命はもとより、社会、医療、経済、エネルギー問題等において甚大な影響をもたらしている。

この新型コロナウイルス感染対策には、ワクチン接種はもとより、マスクの着用、手洗い、「3蜜」の回避、換気、テレワーク、Web 会議の推奨等があるが、ゼロコロナウイルスを求める事はほぼ不可能に近い事から、「コロナとの共存」を目指す計画が推進されている。

現在主流のオミクロン株は感染しても症状が軽い人が多く、また重症化率が低く、入院リスクも低い事から、欧州では症例数が増えていても日常生活を制限する措置が長引けば、国民の健康や社会全体を害するとの考えから、規制緩和に踏み切る国が相次いでいる。海外では現在ほとんどの国がノーマスクである。

日本でも「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」などの経済活動を停滞させる感染防止対策をとらない姿勢を改めて強調している。

マスクの着用について、厚生労働省は屋外公園での散歩やランニング、サイクリング、徒歩や自転車での通勤、屋外で人とすれ違う場面等ではマスク無し、室内では他者と身体的距離 (2m 以上) が確保できて会話をほとんど行わない場合はマスク無しで良いとしているが、実際外に出てみると、公園散歩の人も、自転車に乗っている人、更には一人乗車の車を運転しているドライバーさえもマスク着用している。日本人の性格からか、周囲を見て真似をする。マスクを着用していないと変な目でみられると気にする人が多い。「With コロナ時代」に入った今、コロナとの共存はまず必要のない所でのノーマスクから始めたい。

「With コロナ時代」到来で、大いに関係の深い厚生労働省・・・厚生労働省と言えば、健康、医療、衛生、福祉、医療保険、年金、労働基準、雇用環境等、私達にとってとても重要な分野を担う省庁である。

ここで少しプライベートな話で申し訳ないが今、厚生労働省で日々奮闘中の私の友人を紹介したい。

その人は『畦元 将吾』氏です。

『畦元 将吾 衆議院議員』は令和 4 年 8 月厚生労働大臣政務官に就任され、大臣の片腕となって活躍されている。

畦元氏は診療放射線技師として病院に勤務後、医療機器メーカーに入職、その後独立起業。診療放射線技師の声を国政に届けたい、診療放射線技師は将来に向けて地位向上を目指し、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するため、パラメディカルの力が必要だと唱え、我が神奈川放友会にも「2016 年第 9 回放談会」に来ていただき、「畦元将吾ビジョンを語る」を講演して頂きました。

「畦元 将吾 衆議院議員」は、診療放射線技師の国会議員としては初めての国会議員である。

昭和 26 年診療放射線技師法が出来て以来、時代の変化と共に、放射線機器も変わり、診療放射線技師の業務内容も大きく変わる中で、2021 年 5 月「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」の公布を受け、診療放射線技師法の一部改正があった。時代に即した法律の改正は不可欠であり、そんな中で診療放射線技師の職場の現場をよく知り得た畦元氏が、国政に参加し意見を述べる事が出来るという事はとても重要で素晴らしい事です。

畦元氏はまた「原子力問題調査特別委員会委員」でもあり、我が放友会の活動目標でもある「放射線の安全・安心に関する基礎知識の社会啓発活動」とも一致するものである。

日々奮闘の

『畦元 将吾 衆議院議員』にエールを！！

期待される新しい原子力発電

温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出量を低減する「脱炭素化」に向け、様々なエネルギー分野で、イノベーションに向けた技術開発が進められています。原子力も、脱炭素化の選択肢として例外ではありません。安全性の向上はもちろんのこと、再生可能エネルギーとの共存や、水素の製造、熱エネルギーの利用といった多様なニーズにこたえる原子力技術のイノベーションが進められています。米国では、あのビル・ゲイツ氏が会社を立ち上げたり、ベンチャー企業が開発に参入したりと、これまでにない原子力技術への挑戦が繰り返されています。また、日本でも、原子力イノベーションに向けた取組みが進められています。

1 求められているのは、これまでにない「使いやすく安全な原子炉」

「原子力」には、みなさんもお存じの発電だけではなく、医療、工業、農業、科学等、様々な用途があります。では、これらの用途において求められている「革新的な原子力技術」の姿とはどのようなものなのでしょうか。

代表的なもののひとつが、「小型モジュール炉」です。SMR (Small Modular Reactor) とも呼ばれ、世界各国で開発が進められています。その特徴をキーワードであらわすとすれば、「小型」「モジュール」「多目的」の3つがあげられます。

原子炉を「小型」にすると、大型の原子炉よりも冷えやすくなります。技術的に言えば、小型炉は体積の割に大きな表面積をもっているために起こる現象なのですが、たとえば言うなら、「同じ運動をしても子供や痩せている人のほうが体温を外へ逃がしやすい」というイメージでとらえればいいでしょう。この特性を突きつめていくと、原子炉に水をポンプで入れて冷やさなくても自然に冷えてくれる、といったことも可能になります。実現すれば、安全性が高まるうえに、原子炉全体を簡単な構造にすることができ、メンテナンスもしやすくなります。その結果、コストの削減ができ、経済性も向上する可能性があります。

「モジュール」については、「モジュール建築」、いわゆるプレハブ住宅をイメージして考えてみるとわかりやすいでしょう。プレハブ住宅とは、規格化された部材一式を工場で生産し、さらに組み立てユニットまで作ってしまうもの。現地ではこのユニットを、ブロックを積み立てるように設置します。自然条件に左右される現地でゼロから作るのではなく、ある程度のところまでを工場で生産・管理することで、高い品質管理や短い工期、コスト低減を実現している工法です。これまで、原子力発電所の建設は、ひとつひとつが1点ものとして現地で建

設されており、そのため工期が長くなりがちでした。また、品質保証のために何重もの確認・認可試験を経てつくられてきました。そこで、モジュール建築の手法を最大限取り入れようというアイデアが生まれています。「型式認証」という方法で設計認可を取得しておき、全体を一括で「工場生産+組み立て+輸送+設置」という手法です。こういった



規格化された部材一式を工場生産し作った組み立てユニットを、現地で積み立てるように設置するプレハブ住宅（イメージ）

手法が、「小型」の原子炉であれば可能となります。この場合、まず先に、輸送できるサイズ（米国なら鉄道

や高速道路、欧州なら内陸運河）まで「小型化」し、それから原子炉の出力を決めるという流れになるでしょう。

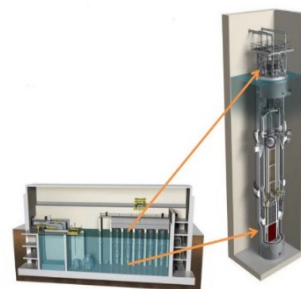
「多目的」に関するものとしては、「発電」の用途以外に、「水素の製造」、「熱エネルギーの利用」「遠隔地でのエネルギー源」、「医療」などに特化した原子力技術を開発しようという動きがあげられます。「遠隔地」では、離島や極地、はては宇宙での利用がターゲットに想定されることもあります。一方「医療」では、放射性物質を使ったがん検査や治療に特化した技術開発が進められています。ほかにも、材料改質を目的とした原子力技術の産業利用についても研究が活発化しています。

2 どんな原子力技術が開発中なのか？

世界の原子炉には、大きく分けて、原子炉の冷却に水をつかうものと、水以外の物質をつかったものがあります。それぞれの原子炉で、特徴を活かしたイノベーションが起こりつつあります。代表的なものをご紹介します。

① NuScale SMR

米国 NuScale 社は SMR 開発の先駆者の1つで、これまで米国エネルギー省からの支援を得ながら開発を進めています。初号機の建設はアイダホ国立研究所 (INL) の敷地内に計画されており、米国の原子力規制委員会での審査も最終段階にあります。



(提供) NuScale Power 社

特 徴

- ・ 1 モジュールの出力は 6 万 kW、通常の「加圧水型」原子炉の 1/20 程度
- ・ 最大 12 個のモジュールを大きなプールの中に設置
- ・ 1 モジュールは、「圧力容器」「蒸気発生器」「加圧器」「格納容器」をふくむ一体型パッケージで、大型の冷却水ポンプや大口径配管が不要
- ・ 各モジュールは、それぞれ独立したタービン発電機と復水器に接続
- ・ 小型化と一体化を図ることにより、大規模な冷却材喪失事故のリスクを回避

② BWRX-300

日立 GE ニュークリア・エナジー社と米国 GE Hitachi Nuclear Energy 社は SMR である BWRX-300 を開発中です。同社は、原子力発電所の設計・製造経験と、様々な製品のモジュール製造経験が豊富で、その経験を活かした原子力イノベーションを進めています。米国で BWRX-300 初号機の建設をめざして、米国原子力規制委員会にはすでに安全審査項目に関する技術レポートを提出しています。また、カナダでの建設も視野に入れ、カナダ原子力安全委員会でも審査を開始しています。

特徴

- ・ 従来の「沸騰水型」よりもさらに構造が単純で、建設コスト、運転コストの低減が可能
- ・ SMR のメリットである低い総建設費、工場完成一体据付、建設工期短縮のメリットを生かして資本リスク、建設リスクの低減が可能
- ・ ガス火力並みの価格競争力を持ち、米国のガス火力発電プラントの建て替え需要も視野に
- ・ 圧力容器と一体になった弁を採用し、大規模な冷却材喪失事故のリスクを実質的に回避



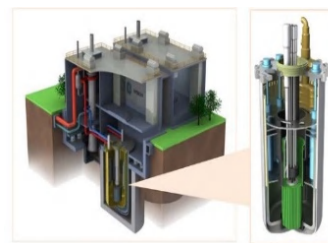
(提供) GE Hitachi Nuclear Energy 社

③ PRISM

PRISM (Power Reactor Innovative Small Module) も米国 GE Hitachi Nuclear Energy 社が開発する SMR ですが、こちらは原子炉の冷却に水ではなくナトリウムを使った原子炉です。「高速炉」と呼ばれるタイプの原子炉で、従来の原子炉と比べて廃棄物の有害度が低く、量も少ない、ウラン資源を有効活用できるといった特徴があります。米国エネルギー省は、PRISM をベースとした熱出力 30 万 kW の多目的試験炉 (VTR) を、アイダホ国立研究所に建設し、2030 年までに運転開始する計画を推進しており、これが PRISM 型の原子炉の第 1 号になると見られています。

特徴

- ・ 空気の自然循環を利用して熱を冷やす方式を採用し、高い安全性・信頼性をもつ
- ・ 高速炉は大気圧 (大気圧) と同程度の圧力で運転されることから、冷却材喪失事故やそれにとまなう格納容器内の圧力上昇が発生しない
- ・ 出力あたりの原子炉建屋の大きさは、「加圧水型」や「沸騰水型」の SMR よりもさらに小さい
- ・ 高レベル放射性廃棄物の体積を減らすことが効率的にできる炉心温度が高く、軽水炉型にくらべて熱効率を飛躍的に向上できる



(提供) GE Hitachi Nuclear Energy 社

3 次世代の原子力発電所は、もっと小型で安全になる

次世代の原子力発電所は、もっと小型で安全になる。小型で安全性が高いとされる新型原子炉の開発が米国で進められている。米国では脱炭素化に貢献する再生可能エネルギーとして重要な位置づけにある原子力だが、小型化やモジュール化といった技術的な革新を経て、商用化に結びつけることはできるのか。

原子力発電の未来は 20 年も前からずっと、オレゴン州立大学キャンパスにある天井が高い実験室に、ひっそりとたたずんでいた。原子力発電の歴史には対立が絶えず、政治的な苦悩も多い。だが、オレゴン州を拠点とする NuScale Power が運転しているこの原型炉は、その物語の新たな章を象徴するものである。

NuScale の原子炉には、巨大な冷却塔も、広大な緊急時計画区域も必要ない。しかも工場での生産が可能で、距離にかかわらずあらゆる場所に輸送できる。

広範にわたるシミュレーションでは、ほぼすべての緊急事態に対してメルトダウン (炉心溶融) を起こさずに対処できることが示されている。少なくとも既存の原子炉と比較すると、使用する核燃料がごくわずかであることが理由のひとつだ。規模の面でも、既存の原子炉に比べてはるかに小型になっている。

気候変動によって危機的な状況に陥っている地球にとって、これは朗報だろう。というのも、原子力エネルギーは一部の環境保護団体の悪評を買っている。一方で、核分裂によって発生するこのエネルギーが、世界の電力の脱炭素化において不可欠な要素になるだろうという考えに、多くのエネルギー専門家や政策立案者が賛同している。

「原子力発電 廃棄物の最終処分を考える 一知り・学び・理解しよう」の冊子より引用

東海道五十三次神奈川エリアを歩く

旧東海道神奈川エリアのウォーキングに、男性三人女性一人(平均年齢 82 歳)の 4 人グループで出掛けた。リーダーは 87 歳ながら健脚で五街道の全路を制覇した方、街道ウォーキングの詳細な計画を作ってくれたので、そのスケジュールで行動した。川崎から箱根の約 92km を 10 日間全歩行 105 km を掛け、広重の浮世絵を偲びつつ旧東海道を踏みしめた。



長谷川 武

「東海道（江戸幕府制定ルート）散策の概略距離と時間・歩数

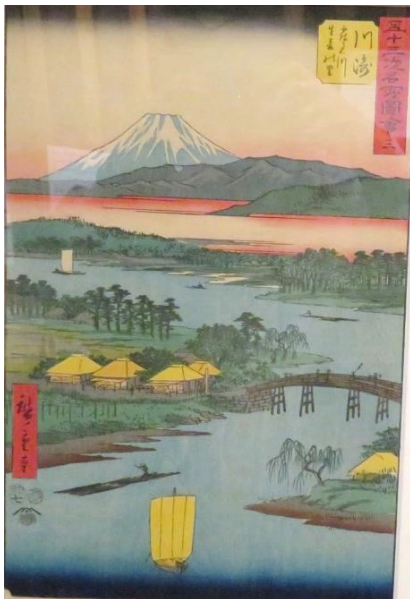
1日目	1月13日（木）	川崎宿	～ 神奈川宿	12.0 km	約4.0時間	26,503歩
2日目	1月27日（木）	神奈川宿	～ 保土ヶ谷宿	7.5 km	約3.0時間	19,113歩
3日目	2月11日（金）	保土ヶ谷宿	～ 戸塚宿	8.4 km	約3.0時間	19,565歩
4日目	2月24日（木）	戸塚宿	～ 藤沢宿	10.9 km	約4.0時間	26,610歩
5日目	3月10日（木）	藤沢宿	～ 茅ヶ崎	9.0 km	約3.2時間	21,105歩
6日目	3月24日（木）	茅ヶ崎	～ 大磯宿	12.0 km	約4.0時間	26,461歩
7日目	4月14日（木）	大磯宿	～ 国府津	11.2 km	約4.2時間	26,830歩
8日目	3月31日（木）	国府津	～ 小田原宿	12.3 km	約4.2時間	27,022歩
9日目	4月28日（木）	小田原宿	～ 湯本	8.8 km	約3.2時間	20,804歩
10日目	5月12日（木）	箱根宿	～ 湯本	12.5 km	約4.3時間	27,252歩

藤沢宿を訪ねた折に「藤沢浮世絵会館」の情報を得たので立ち寄ると、藤沢浮世絵会館では、「広重の豎絵東海道勢ぞろい 12Days の京旅行」イベント企画の展示中でした。

歌川広重は 20 種余りの東海道シリーズの浮世絵を描いているのですが、「五十三次名所図会」（通称：豎絵東海道）は晩年に描かれた作品でした。東海道の様々な宿場やその周辺を俯瞰的な縦の構図で描かれており、当時の旅景色を日本橋から三条大橋までの全 55 点を、浮世絵で旧東海道をバーチャルリアリティーに鑑賞させて頂きました。この観賞はグットタイミングであった。

江戸日本橋より京の三条大橋を結ぶ東海道は約 126 里 6 町 1 間（約 492 km）あり、その道中には 53 の宿場がありました。その周辺の景色を、広重の「豎絵東海道」は縦の構図で遠近感のある図や俯瞰図で構成されており、雄大な旅景色を遠くから眺めているかのように描かれています。

広重の絵で当時の風景がイメージできたので、その浮世絵を話題にしながら現地を歩きました。



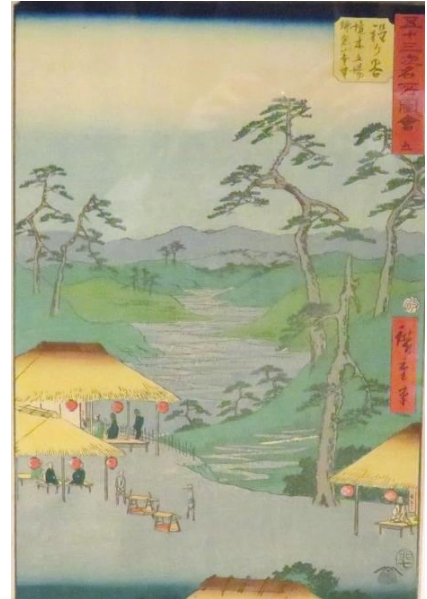
川崎

川崎 鶴見川生麦の里
川崎と神奈川宿の途中



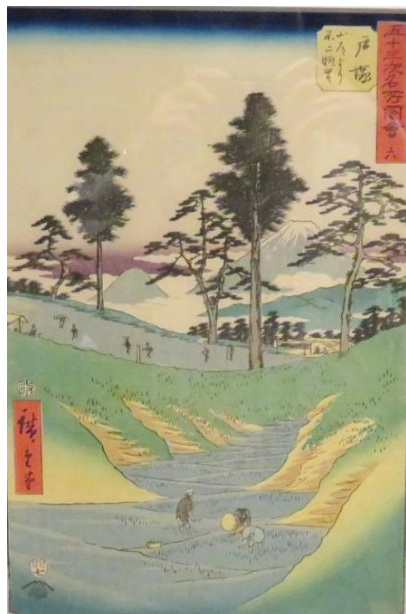
神奈川

台の茶屋海上見はらし
台の茶屋から海・野毛・本牧を望む



保土ヶ谷

境木立場鎌倉山遠望
鎌倉山を望む、牡丹餅が名物



戸塚

山道より不二眺望

谷戸田と丘陵の農業地で働く人



藤沢

南期の松原あり不二

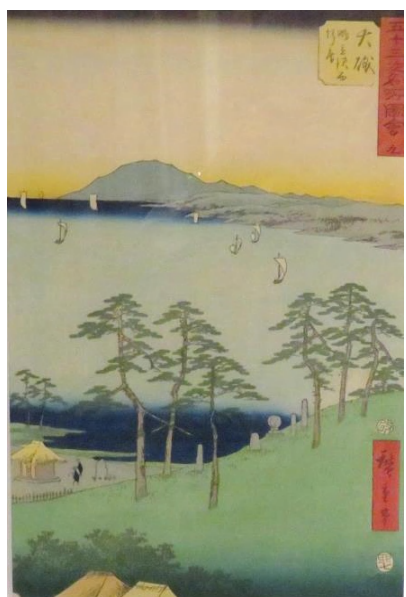
松並木を様々な手段で街道を行く様子



平塚

馬入川舟渡し大山遠望

大山と富士及び川の大きさを表現



大磯

嶋立沢西行庵

景勝地として知られていた相模湾の景色



小田原

海岸漁舎

伊豆半島が見える。ういろうと提灯が名物



箱根

山中夜行の図

松明を灯して駕籠が薄暗い箱根山を登る

お陰様で、特に五十三次名所図会の三～十一の川崎宿～箱根宿までの神奈川エリア、九宿場関連 9 点の作品を撮影収集させて頂いたので、ラッキーでした。また、天候などの諸条件に恵まれながら旧東海道ウォーキングを、江戸時代に戻った雰囲気を楽しめたのは良き思い出となった。

五十三次名所図会は、歌川広重の安政 2 年 (1855 年) の作品で、大判錦絵です。

当時の東海道の旅は、日本橋から京の三条大橋まではおよそ 12 日間を要したとされています。東海道は慶長六年 (1601)、徳川家康が宿駅伝馬制度を定め、街道の整備を始めたとされており、道の整備や伊勢参りの大流行などにより、多くの人が旅する街道であり、様々な浮世絵に描かれたようです。その絵のイメージは、各所の名所や杉並木・石畳み等に残っていたので堪能できた。

高齢者の身を案じながら日数を掛けてテクテクのんびり、予定通り何とか制覇することが出来た。

私の関心事

橋口 邦紘

何処へ行くあてもなく、何の楽しみもない爺さんの唯一の趣味は毎週 28 の TV 予約番組等を鑑賞することですが、最近最も衝撃をうけた番組が二つありました。

1. 藤井五冠「王位戦七番勝負」タイトル防衛 9 月 6 日豊島九段相手に 4 勝 1 敗で防衛に成功、第一局は黒星スタートでしたが 2 曲目から 4 連勝して防衛、通算 10 期としました、これは歴代の棋士の中で 9 人目となります。
通算獲得数の最も多い棋士は、1 位羽生善治 99 期、2 位大山康晴 15 世名人 80 期、3 位中原 誠 16 世名人 64 期・・・9 位藤井五冠 10 期、だが注目はタイトル 10 期獲得、年少順位は、1 位藤井五冠 20 歳 1 ヶ月、2 位羽生善治 23 歳 4 ヶ月、3 位中原 誠 24 歳 10 ヶ月、更にタイトルから 10 期獲得期間の短い順を調べると、1 位藤井五冠 2 年 1 ヶ月、2 位 中原 誠 4 年 0 ヶ月、3 位羽生善治 4 年 1 ヶ月、となり其々藤井五冠が更新しました。タイトル戦の成績は 35 勝 6 敗 (勝率 8 割 5 分 4 厘)、注目の A 級戦は 9 月 15 日現在 2 勝 1 敗です、是非とも 1 位で勝ち上がり、渡辺名人との「名人戦」を実現して欲しい、今年一番の楽しみがこれです。

藤井 聡太は、将棋棋士。杉本昌隆八段門下。棋士番号は 307。愛知県瀬戸市出身。

2016 年に史上最年少で四段昇段を果たすと、そのまま無敗で公式戦最多連勝記録を樹立した。

-Wikipedia

- ・生年月日 2002 年 7 月 19 日 (20 歳)
- ・出身地 愛知県瀬戸市

2. 9 月 8 日エリザベス女王が崩御されました。
小生の拙文では大変申し訳ないので、JRA 後藤正幸理事長のコメントをそのまま紹介致します。
エリザベス女王の崩御を受け、深い哀悼の意を表します。

女王陛下の競馬への情熱と貢献は、競馬に関する全てのものにとって大きな誇りであり、その名を冠した競争は世界中で愛されています。

女王陛下の来日を記念して創設された我が国女王杯 G1 も、英国の競馬と日本の競馬の深い繋がりを表すものとして、日本の競馬ファンに広く親しまれています。心からご冥福をお祈り致します。馬主、生産者として大きな成功を納めた女王陛下、所有馬がダービーを除く英国のクラシック競争を優勝しています、1975 年の来日を記念して創設されたのが日本のエリザベス女王杯です、世界には英国のクイーンエリザベス二世ステークス、香港のクイーンエリザベス二世カップ、オーストラリアのクイーンエリザベスステークス等々エリザベス女王の名を冠した競争が各国にあります。女王が所有された英国クラシック 1000 ギニーの勝ち馬、ハイクレアの血を引く馬たちが日本で血を紡いで生まれた名馬がディーピンパクトです。

改めて女王陛下の所有され、生産された馬たちが如何に世界に大きな影響を与えているかを感じます。来日の当時から女王陛下は日本の競馬に関心を寄せられていて、生産者も含めて思いを持たれていらっしゃいました。

日本の競馬ファンはとても悲しみました、ましてや英国や女王が 君主、元首を務めていた各国の皆さんの悲しみは如何ばかりかと思えます。

イギリスは近代競馬発祥の地である。

日本が戦国時代だった 1539 年 (1540 年説もある) には早くもチェスターにイギリスで初めてとなる常設の競馬場が誕生 (現在のチェスター競馬場)。その後、ドンカスター、ニューマーケット、ヨークなど各地に同様の施設が造られていき、17 世紀の初頭には十数か所で競馬が行われていたようだ。

また、イギリスの競馬は王室の保護奨励の下で発展してきた面が強く、17 世紀から 18 世紀にかけての国王でいえば、ニューマーケットがイギリス競馬の中心地となる礎を築いたジェームズ I 世 (在位 1603 年から 1625 年)、ニューマーケットをさらに発展させたほか、自らが手綱を取ってレースで優勝したこともあるチャールズ II 世 (在位 1660 年から 1685 年)、アスコット競馬場を創設したアン女王 (在位 1702 年から 1714 年) の庇護はよく知られている。ただし、この頃の競馬は、王侯貴族による娯楽の意味合いが強いもの。共通のルールに基づいたものではなく、出走馬の出自や競走成績についても詳細な記録は残されていない。

-JRA より

心からご冥福をお祈り致します。

(JRA は各施設に於いて半旗の掲揚を行っています)

「私が愛した人々」について

小松崎 眞一

平成 11 年 53 歳で家内は他界しました。私は 56 歳でした。以来 23 年経過しました。63 歳のとき自治会、64 歳のとき神奈川放友会のボランティアに参加した。以後平成 25 年 6 月本の執筆を始めました。70 歳でした。途中なんども中断しながら、手探りではあったが続けることが出来ました。情報交歓会からスタートした神奈川放友会の活動をするのが次第に生きがいになってました。そして本を書きたいと思うようになったのです。



成熟から老境

一章 妻との別れ 二章 高年齢と爽快

三章 劇的な訪れ 四章 時代の移り変わり

年表・クラスターマップ (人間関係図)

書き終えて・あとがき・参考書籍、資料

◇はしがき

この本は独自の感性と資料 (多方面の本) との融合で書いた内容になっております。それは父母のこと・自分が放射線技師になった経緯・生きてきた時代の出来事・新たに変わった心境・未来のこと等を書いております。

また神奈川放友会のアドバイスは書く時の大きな助けになりました。それは長谷川会長が題名を「私が愛した人々」的がいいと言ってくださいました。

そこで題名として受け止めることとして良かったとの思いをしております。早瀬副会長は私の「放射線技師のことは書きにくい」に対して、その通りなので技師以外でと言ってくださいました。本を書く上でのコンセプトとして「自分史にしないで」と言ってくださいしたのは橋口副会長でした。

高校の同級生からは本を書くならば師匠に師事するか教室へ通った方がいいのではと助言されました。さまざまな意見・アドバイスが出ました。一方、私の親戚からは是非完成させとほしいとの言葉もありました。

(この様ないきさつを踏まえて書き進め発行の運びとなりました。これまで応援して下さった方々にお礼を申し上げます。) この部分未定

著者

◇コンセプト

本を書くと言うことはどうゆうことかと思いを巡らせた。

- 1) 250 頁
- 2) A5
- 3) 13 フォント
- 4) ノンフィクション
- 5) 題名 (命名者 長谷川会長)
- 6) イラスト・写真
- 7) 年表の作成
- 8) クラスターマップ (人間関係図) の作製

◇あらすじ

両親は南米移住者に同行して南米へ渡った。島崎藤村は同じ船 (リオデジャネイロ丸) に乗船しておりました。両親は 6 年間移住に携わり第二次世界大戦のため帰国して生まれたのが私であった。



南アメリカ (ワードアイコンから掲載)

小学 3 年の時事情があつて両親から離れて茨城の親戚に預けられた。6 年後東京へ戻った。

中学・高校・駒沢エックス線技師学校へと進み学生生活をエンジョイしました (夜学)。同時に昼はエックス線機器製造会社へ勤めながら放射線技師の資格を取得した。その後病院へ勤務。定年を経て 70 歳で仕事を終了。その後ボランティア活動を行い生きることとして現在に至っております。両親のこととそれからの自分を記憶と写真を駆使して書いて見ました。

◇目次

はしがき

生い立ち

- 一章 父母と島崎藤村
- 二章 海外移住
- 三章 田舎の思い出
- 四章 東京の思い出

成人

- 一章 遭遇
 - 二章 出発
 - 三章 充実
 - 四章 放射線技師の感覚
- ブレイクタイム

◇おわりに

今後の作業はヘッダー入力・レイアウトの変更・あとがき・書き終えて等を行います。

本のサブタイトルはまだ決めていません皆様のアイデアやアドバイスがあれば参考にしたいと思います。

長谷川会長から完成に期限ありませんと伺いました。ですがもう少し早く書けなかったのかと思っております。

執筆前は自分で生きてきたと思っておりました。しかし書き終わった今は多くの方々に支えられて生きてきたのだと感ずるようになりました。このことを踏まえてこれから生活して行こうと思ひます。

・本には写真・イラストを掲載しておりますが今回の投稿には南アメリカのイラスト以外掲載しませんでした。



平成 5 年以前の淵野辺病院

新潮文庫 (私有本をデジタルカメラから画像化)

みんなの広場

■ 2022 年（令和 4 年）度 秋の叙勲

本会会員 大屋 博宣さん受章

元済生会横浜市東部病院放射線部部长 大屋博宣（63 歳）さんが、令和 4 年度の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。受章おめでとうございます。

■ マイナンバーカード出生届と同時に申請（顔写真不用）

政府は、新生児の出生届の提出と同時にマイナンバーカードの申請が行われるようにする検討に入った。

（2022.11.3）マイナカードの 9 月末時点の交付率は全体で 49.0%だが、0～4 歳は 32.4%にとどまっている。

■ 牛などに「げっぷ税」を課す案を打ち出した。

ニュージーランド政府が温暖化対策として、牛などの「げっぷ税」を課す案を打ち出した。げっぷに含まれるメタンガスの温室効果は、二酸化炭素の約 25 倍に上り、酪農大国では温室効果ガスのおよそ半分を占める。増税となる農家は大規模な反対運動を起こした。気候変動との戦いは、経済活動との間で一筋縄ではいかないだろう。 2022.11.04

■ 治水神禹王と徐福伝来展

～写真・漢詩展と講演会～

今年は「日中国交正常化 50 周年」になる。

一般社団法人神奈川県日中友好協会は日中国交正常化 50 周年を記念して、写真・漢詩展と講演会を開催した。

写真展・漢詩展

第 1 期 11 月 2 日(水)～8 日(火)

地球市民かながわプラザ 2 階展示コーナー

第 2 期 12 月 19 日(月)～22 日(木)

かながわ県民センター 1 階展示場

記念講演会

11 月 4 日(金)13 時～16 時

地球市民かながわプラザ 5 階映像ホール

・日本の禹王遺跡と日中の研究交流

治水神禹王研究会会長・

仏教大学名誉教授 植村善博氏

・アジアの徐福

作家・翻訳家・

日本徐福協会顧問 池上正治氏

・本場の紹興酒の魅力を伝える

古越龍山東京事務所長 夏 良根氏

この催しには 200 人程の参加者だったが、神奈川放友会の会員も参加され、日中友好の発展を願った。

■ メタン排出原、衛星で特定 各国とデータ共有へ

国連環境計画（UNEP）は 11 月 11 日、温室効果ガスの一種「メタン」の排出源を、人工衛星による宇宙からの観測で特定する計画を発表した。収集したデータを各国の政府や企業と共有し、効果的な排出削減につなげる。メタンは化石燃料の採掘場や廃棄物の埋め立て処分場のほか、家畜の牛の「げっぷ」や水田などから放出される。二酸化炭素と比べて 25 倍の温室効果があり、国連環境計画は、現在の地球温暖化の原因の少なくとも 4 分の 1 はメタンにあると指摘する。

■ 相模湾に世界の艦艇終結

横須賀市によると、2022 年 11 月 3 日（木・祝）に実施した「海上自衛隊創設 70 周年記念、国際観艦式 2022 横須賀パレード」の開催結果は、パレードは、中央大道通り、ヴェルニー公園を会場に開催し、約 30,000 人が来場。パレードへの出演は、27 団体から約 900 人が参加したと公表した。

11 月 6 日は、「海上自衛隊の創立 70 周年」に合わせて相模湾で行われた「国際観艦式 2022」で、岸田首相は護衛艦いずもで「自由で開かれたインド太平洋の実現のため、諸外国との協力関係を一層深めてゆく。他国の平和と安全を武力の行使や武力による威嚇によって踏みこじめるものが現れる事態に備えなければならない」と訓示。

日本をはじめ北米のアメリカ合衆国、カナダ、アジアのインド、パキスタン、シンガポール、インドネシア、タイ、マレーシア、韓国、ブルネイ王国、大洋州のオーストラリア、ニュージーランドなど 13 か国の艦艇計 39 隻と、日米仏 3 か国の航空機計 33 機が集結し、観閲や祝賀の航行を行なった。

艦艇や航空部隊は、岸田首相が乗った護衛艦「いずも」の前を次々と航行し、観閲を受けた。

尚、海上自衛隊の国際観艦式は、東京湾で行われた 2002 年以来で、20 年ぶり 2 回目だが、韓国が日本の観艦式に参加したのは 2015 年以来 7 年ぶり。招待をした中国は艦艇の派遣を見送っている。

観閲の後には、潜水艦の潜航や浮上、哨戒機 P1 のフレア射出、救難飛行艇 US2 の洋上着水などの訓練が繰り広げられている。

首相は訓示後、米原子力空母「ロナルド・レーガン」に乗艦し、艦内を視察している。

（読売新聞の報道を参照し記した）

■ メールを利用して情報提供をお願いします。

会員の皆さん、「With コロナ」の時代、メールで会員と共有したい情報をお願いいたします。

（ kanagawahohyuh2009@jcom.zaq.ne.jp ）

編集後記

☆ ★ ☆ ★

会員の近況報告を Newsletter 掲載のためにお寄せください。 早瀬 櫻田 小嶋 仙臺 小松崎